

週報



継続と改革

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南

住所 日南市園田3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 黒岩久登

基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間

第3345回例会	No.08	2023.09.06	曇り
点鐘・国歌・ロータリーソング	12時30分	「君が代」	「奉仕の理想」
ロータリーの目的	古澤昌子 君		
例会行事	結婚・誕生者卓話		

会長時間

本日はヤングケアラー問題について話させていただきます。

家族介護者を支援している一般社団法人・日本ケアラー連盟の定義によりますと、「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを行っている18歳未満の子供」と定めています。

ヤングケアラーは、介護に忙殺されて本来受けるべき教育を受けることができず、同世代との人間関係も満足に構築することができません。調査を進めると、どこまでをヤングケアラーと認定するか、その境界線の難しさが浮かび上がります。家族の世話をする若者は、世間から「親孝行な子」「えらい子」「仲の良い家族」と称賛されることはあっても、「支援すべき対象」とみなされることは少ないのです。確実に存在しているはずのヤングケアラーは社会の陰に埋もれ、多くの人々の目に入らない「透明な存在」だと記されています。

社会の陰に埋もれてしまう原因は他にもあります。社会経験の少ない子供たちは、過酷な状況下におかれても外部に助けを求めることを知りません。ある元ヤングケアラーは「子供の知識のなさをなめてはいけません。半端なく知識がない。だから「助けて」と外部の世界に手を伸ばせない」と指摘します。このような子供たちの現状には心が痛みます。またこの元ヤングケアラーの若者は、その渦中にある子供たちに向けて「受け止めてくれる人は必ずいる。希望を捨てないで」とメッセージを送っています。

ヤングケアラー支援の先進国である英国では、定義の中に家計面のサポートを行うことも含んでいます。また手伝いの域を超える過度なケアが長期間続くと、心身に不調をきたしたり、遅刻や欠席が増加するなど学校生活への影響も大きいとし、進学や就職を断念するなど子供の将来を左右してしまう事例もあると報告しています。

このヤングケアラーの年齢は国によって異なり、公的サポートの対象とされるヤングケアラーは、イギリスでは18歳未満とされ、16歳以上で、フルタイムの教育を受けていない場合は、仕事探しの公的支援を受ける資格がある。オーストラリアでは25歳までとされる。日本ではヤングケアラーの法律上の定義は存在せず、研究者の定義から18歳未満の子供とされるのが一般的ではあるが、先程のヤングケアラー連盟では、これに加えて、18歳からおおむね30歳代までのケアラーを「若者ケアラー」と定義している。

ヤングケアラーの人数や実態は長い間把握されていなかったが、新聞社の分析によると15歳から19歳の若者は2017年の時点で推計37000人おり、そのうち8割が通学しながら、週4日以上、勉強と介護を両立させていると明らかにしています。ある企業による調査により明らかになった実態の一例を挙げますと、家族構成は「一人親と子供」が48.6パーセントと最多。家族構成員の少なさから、介護にも協力せざるを得ない状況があります。学校生活への影響に関する設問では、「学校などにもあまり行けてない」と回答した人が31.2パーセント。家族の介護が原因で「遅刻が多い」「授業に集中できない」「部活動に参加できない」など、学校には通っているものの何らかの支障があると感じている人も27.4パーセント存在します。また「自分はヤングケアラーとして認識していない」は44.5パーセント、「わからない」が41.1パーセント。8割以上の人が、自分自身をヤングケアラーと認識していません。子供が家庭で行っているケアを支援する人の有無については、「なし」が

54.3パーセント。学年別に見ると、学年が上がるにつれ「なし」の割合が高くなります。半数以上のヤングケアラーが、支援者なしの孤立状態で介護を行っている。

ヤングケアラーの実態を把握しやすい立場にあるのは、本人が通っている学校の教師であるが、実際には多くの学校、教育委員会は、家庭のことは個人情報の問題もあり、本人から話がないと踏み込めないという方針が多い。当のヤングケアラーも、学校のような同質性の高い集団では、周囲に合わせるのが苦しくなってくることで、友人たちに介護の話をして、共感してもらうことは難しいことから、誰にも話せず孤立を深めていく悪循環に陥ってしまう。こうしたことから実態把握が難しく、問題が表面化しにくい。森田立正大教授は「学校がヤングケアラーを早く見つけ、家庭の世話を託せる福祉サービスにつなぐことが必要だと指摘しています。

埼玉県では2020年3月、全国で初めてとなるヤングケアラーを支援するための条例「ケアラー支援条例」が成立しました。学校や教育委員会に、ヤングケアラーと思われる児童、生徒の生活状況、支援の必要性を義務づけ、相談に応じたり、支援機関に取り次いだりするものとしている。具体的には、教育機関などによる支援体制の構築（高校や中学校への出張授業）、地域における支援体制の構築（オンラインサロンの開催など）があげられる。また11月はケアラー月間と定められ、中学生や高校生に向けて「ヤングケアラーってなに？」というハンドブックも配られた。

社会全体で支えることによりケアラーの孤立を防ぐ仕組みづくりを目指すもので、ヤングケアラーの教育機会の確保も含まれている。2021年3月には、埼玉県ケアラー支援計画が策定・公表された。計画で取り上げられた主な課題は①社会的認知度の向上②情報提供と相談体制の整備 ③孤立の防止 ④支援を担う関係機関等の人材の育成 ⑤ヤングケアラーの支援体制の構築である。そして基本目標は1、ケアラーを支えるための構築。2、行政におけるケアラー支援体制の構築。3、地域におけるケアラー支援体制の構築。4、ケアラーを支える人々の育成。5、ヤングケアラー支援体制の構築・強化である。

現在では各自治体で支援にむけた動きが活発化してきたが、国も実態調査を行い、その中で「世話をしている家族がいる」という生徒の割合は中学生が5.7パーセント、高校生が4.1パーセント。世話にかけている時間は一日平均で中学生が4時間、高校生が3.8時間で一日に7時間以上世話に費やしている生徒も1割以上存在することが明らかになりました。世界の動きを見ましても十分な対策がとられている国はまだまだ少なく、先進国といわれるイギリスでもまだレベル2の段階です。子供たちが平等に教育を受け、明るく生きられる人生を送れるよう心から祈念し本日の会長時間を終わりたいと思います。

## 幹事報告

1. 日本事務局より、9月のロータリーレートのお知らせが届いております。
  - ・ 今月のレートは、1 \$ = 146 円 となっております。(前月のレートは、1 \$ = 141 円)
2. 2023-24 年度地区補助金の送金がありましたのでお知らせ致します。  
地区補助金振込額 313,055 円
3. 本日の宮崎日日新聞朝刊に、第2730地区の2023-24年度ガバナーに就任された池ノ上克ガバナーの記事が掲載されておりましたのでお伝えいたします。

## 委員会報告

親睦委員会 誕生 黒岩久登君(1961) 花盛和也君(1959)  
結婚 野崎正彦君(1983) 黒武者和浩君(2004)

## スマイル

古澤 昌子君 今月から秋の仕込みが始まります。良い焼酎ができることを祈念してスマイルします。  
鬼束 忠男君 見舞いありがとうございました。無事退院することが出来ました。半年ぶりの例会です、よろしくお願ひします。

## 例会行事 結婚・誕生者卓話

### 野崎正彦君(結婚)



結婚祝い、ありがとうございます。今年で40年に成りました、子供は二人居ますが孫はおりません、寂しい気持ちは有りませんが孫が居れば、また、違う世界が有ると思ひますが、自然体で生きて行きます。

私の妻が、大学時代に岡山から津山の大学に行く電車の中で、誕生寺駅と言う駅名をなんだろうと、その時不思議に思ったそうです。

縁あって私と結婚してその謎が解け、大学時代の時と違って再び訪れて感慨ぶかい思いが有ったそうです。

誕生寺は、私の寺の浄土宗を開かれた、法然上人がお生まれになった場所で聖地で有ります、これからも大事に守って行かなければ成らない場所です。これも何かの縁で、妻と赤い糸で結ばれていたのでしょう。残りの人生を有意義に過ごして行きます。



### 黒岩久登君（誕生）

今日は誕生卓話という事ですが、私の誕生日には誰も興味がないと思われまので、今からちょうど100年前9月1日に発生した災害についてお話しします。

関東大震災です。この地震により東京・神奈川など首都圏を中心に死者、行方不明者役10万5000人に上り、日本の災害史上最悪の惨事となりました。9月1日は、災害の備えを点検する目的で「防災の日」と定められています。ちょうど100年の節目という事

で重い教訓を皆さんと共有したいと思います。

死亡の原因の9割を占めたのは火災です。お昼時に発生したため、炊事の火が強風にあおられ燃え広がりました。木造住宅が密集していた東京の下町が最大の被災地となりました。「ひとに押し倒される女、馬に踏み潰される男、親を呼ぶ子の悲鳴、子を呼ぶ親の叫び。火の粉はあられのように落ちてくる。建物の爆破する響きは遠く近く聞こえてくる。とてもこの世の様とは思われませんでした。」手記にこうつぶったのは、今の東京都墨田区に住んでいた松本ノブさんです。幼い子供二人を連れて避難した際、橋の上で身動きできなくなりました。木造の橋や狭い路地など、当時の都市インフラは災害に弱く、多くの住民が逃げ込んだ墨田区の旧陸軍被服廠跡にも延焼が広がり、約3万8000人が命を落としました。

この反省から、内務大臣の後藤新平らが復興事業で推し進めたのは、大規模な基盤整備による災害に強い都市づくりでした。現在の都心の主要な橋や道路は、多くがこの時にできたものです。しかし、教訓は十分に引き継がれてきたとは言えません。戦後復興期から高度成長期に向かう中で、新たな木造住宅密集地域が郊外で無秩序に拡大していきました。近い将来の発生が懸念される首都直下地震でも、火災や倒壊が予想され、最悪の場合、首都圏で約2万3000人が死亡すると国は試算しているそうです。

膨大な数の避難者にどう対応するかは大きな課題です。在宅避難を選んだ場合も、タワーマンションが増えたことから、住人が上層階に取り残される恐れがあります。町に帰宅困難者があふれる事態も想定されます。新たな課題も抱え、「災害に強い都市」になったとは言えません。老朽住宅の建て替えを促進し、帰宅困難者の一時滞在施設を確保するため民間との連携を深めるべきです。1人暮らしの高齢者が増える中、薄れた地域のつながりを取り戻すことも大切になってきます。大災害後に目指す都市づくりについて議論しておく「事前復興」も重要となります。

大震災後の復興事業が迅速に進んだのは、後藤が東京市長時代に構想し、実現できなかった首都の近代化計画が事前復興の役割を果たしたからです。都市防災に詳しい中林東京都立大名誉教授は「国がリーダーシップを取り、将来に向けた大きなビジョンを社会で共有すべきだ。人口減少や情報化に対応し、今後はコンパクトな都市復興が求められる。」と指摘しています。

また決して忘れてはならない負の歴史があります。朝鮮人による暴動や略奪が横行しているとの流言が広まり、虐殺が起きました。国の中央防災会議がまとめた調査報告書によると、犠牲者数は大震災による死者全体の1から数パーセントと推計されます。巻き込まれた日本人や中国人もいました。住民らが組織した自警団だけでなく、軍や警察も殺害に加わりました。政府は当初、暴動を事実として各地に伝え、取り締まりの強化を指示していた。SNS時代の現代社会では、デマが一気に拡散するリスクが高まっている。不確かな情報に踊らされることがあってはいけません。過去の惨事と向き合ってこそ、命を守る為の教訓を受け継ぐことができます。

松本ノブさんは大震災で夫を亡くされましたが、他の被災者から食べ物を分けてもらったり、寝場所を提供されたりして避難生活に耐えられました。手記を残した理由を最後にこう書いておられます。「その時の有様のあらましなりとも子供に語り継いで、人様から受けたご恩に報いるようにしてもらいたい」

地震大国・日本は、その後も阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本大地震など大きな被害に見舞われました。先人たちの思いを受け止め、災害への危機意識を高めたいと思います。

宮崎県においては南海トラフ地震の発生が予想され向こう30年間の発生確率は70から80パーセントほどになるそうです。今でも地震が来ますと「南海トラフ地震か」と思ってしまう。備えあれば憂いなしです。準備をしておきましょう。



### 花盛和也君（誕生）

私の勤務先である宮崎福祉医療カレッジの紹介をします。介護福祉科、福祉総合学科、社会福祉学科の3学科があり、社会福祉学科は宮崎市に教室があります。カレッジ全体で77名の昼間制の学生と68名の通信制の学生、計145名の学生が在籍しています。

介護福祉科は、少子高齢化社会が進む南那珂地区において必要不可欠な人材を育成する学科ですが、残念ながら入学希望者が定員を満たさない現状があります。近年は介護福祉士の待遇改善も図られており、世のため、人のためになる仕事ですので、是非近くに介護福祉に興味がある方がいましたら、ご紹介していただくと有難いです。

福祉総合学科は、野球部の学生が所属する学科です。毎年、定員20名を超える学生が入学してくれています。先月、行われたJABA西日本地区専門学校硬式野球大会で優勝し、市長表敬訪問をさせていただきました。部員40名のうち、宮崎県出身者が10名、そのうち日南出身者が1名と地元からの入学者が少ない状況もありますので、介護福祉科と併せて、もう少し野球を続けたい、上のレベルを目指したいという高校生がいましたら、紹介していただくと有難いです。

### 8/9 委員会アワー会員増強委員会



8月9日の例会が、台風で中止になった為「委員会アワー会員増強委員会」の会員増強・拡大セミナー報告を掲載します。

会員増強・拡大セミナー 日時：令和5年8月5日（土） 場所：メインホテル（都城）

#### 1 セミナー概要

池ノ上ガバナー挨拶の後、川原パストガバナーの講話があった。

講話の中で、増強するに当たっては、ロータリーのプラスの部分の話をすることが大事だ。具体的には、ロータリーの友や月信、ロータリーの行事の商會がされている新聞記事やロータリー手帳などロータリーの内容や活動条項が分かるものを持参して説明する。例会や懇親会に、懇談会に誘う。等が示された。

その後5グループにわかれてディスカッションを行った。

#### 2 セミナーで得られた情報

増強をするにあたっての工夫

- ・クラブ活動の広報を充実させる。
- ・クラブのオリジナルのパンフレットを作る。  
クラブの具体的な事業内容 会費 を記載
- ・夜間例会（懇親会）に誘う。
- ・退会者にアプローチする。
- ・3年未満の会員を増強委員にする。
- ・家族会員の入会金を半額にする。
- ・会員の企業の関連会社にアプローチする。
- ・会員が「楽しいところだ。行きたいところ。」と思えるような場にしていく。
- ・女性は、自分が気に入ったと思わないと入会しない。

#### 3 セミナー受講後の感想

日南ロータリークラブのオリジナルのパンフレットを作るのは有益であると思う。R I 作成のパンフレットは外国人の写真ばかりでかつ活動内容も一般化されて書かれているので、遠くの出来事のようにイメージがわきにくい。

クラブの独自の活動一例えば、「わかば」や「高校生就職支援講座」等を、写真を交えて紹介すれば、ロータリークラブが日南において具体的にどのような活動をしているかがよく分かると思う。

### 出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今 週	30	8 (4)	26	22	0	4	22	84.61%
出席免除	小玉、清水、土屋、渡邊							
先取MU								
欠 席	石灘、榎木田、黒武者、村社							

## 第16回高校生就職支援セミナー

9月2日土曜日午前9時から、宮崎第一信用金庫日南営業部2階で第16回高校生就職支援セミナーが行われました。出席者は少なかったのですが4年ぶりに有意義なセミナーが行われました。



事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：黒岩久登 副会長：築瀬 敦 幹事：井野畑善順 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、[ocame@wing.ocn.ne.jp](mailto:ocame@wing.ocn.ne.jp)まで送信してください。